

委 4 2 - 1

衛星による森林火災の検知・抑制について

アラスカ大学

国際北極圏研究センター

福田正己



国際北極圏研究センター IARC アラスカ大学

橋本・クリントン コモンアジェンダにより

2000年に日米が共同で創設した研究センター

内容

1. 森林火災について
2. センチネルアジア森林火災ワーキンググループの取組み
3. 今後の展開

(注) “Wild Fire” の邦訳として、ここでは“森林火災”を用いる

1. 森林火災 (Wild Fire)について

- 世界各地で多発: 東南アジア・オーストラリア、アフリカ、アマゾン、シベリア・アラスカ
- 慢性的に発生: 焼畑など人為的な原因による
- 大規模: 日本の山火事の比ではない
- 多様な火災: 木・草地の他に泥炭層の燃焼
- 慢性的災害(火事、煙害)のみならず温暖化要因
森林火災 ⇒ CO₂排出 + CO₂吸収源の消失
- 検知には衛星が最も有効: MODIS (Terra, Aqua)、NOAA/AVHRR、MTSAT

衛星(MODIS)の検知した世界の森林火災

